

珠洲における アナログ放送終了 第2次リハーサル 実施結果報告

平成 22 年 3 月 5 日
総 務 省
(社) デジタル放送推進協会

1 アナログ放送終了リハーサル狙い

昨年7月24日の第1次リハーサル(1時間休止)の成果・反省などを踏えて長時間休止



第2次リハーサル狙い

- 1 周知徹底や受信機貸与等の対策を講じても、課題が残るのかを検証する
- 2 珠洲市で1年早いアナログ放送終了を行う可否を見極める
- 3 全国に情報発信してアナログ放送終了への理解を高める

2 アナログ放送終了リハーサルの概略スケジュール

<2009年> 4月6日	実施場所を石川県珠洲市に決定
5月29日	「デジサポ珠洲」を設置
	● 住民への周知（チラシ、スーパー表示 など） ● 視聴実態調査の実施
7月24日	短時間休止（10:00～11:00の1時間）
	● 周知・説明会の開催 ● 受信環境の整備 ● アナログ先行終了に向け地元と調整 など
<2010年> 1月22～24日	長時間休止（22日正午～24日正午の48時間）
7月24日	アナログ放送先行終了

第1次

第2次

3

リハーサル地区の概要

珠洲市の人口と世帯数

人 口	約17,700 ^人	<高齢者率> 40.6%
世帯数	約6,600 ^{世帯}	<高齢者のみ世帯率> 35.9%

出典：珠洲市HP（今年1月時点）

《長時間休止の対象地区》

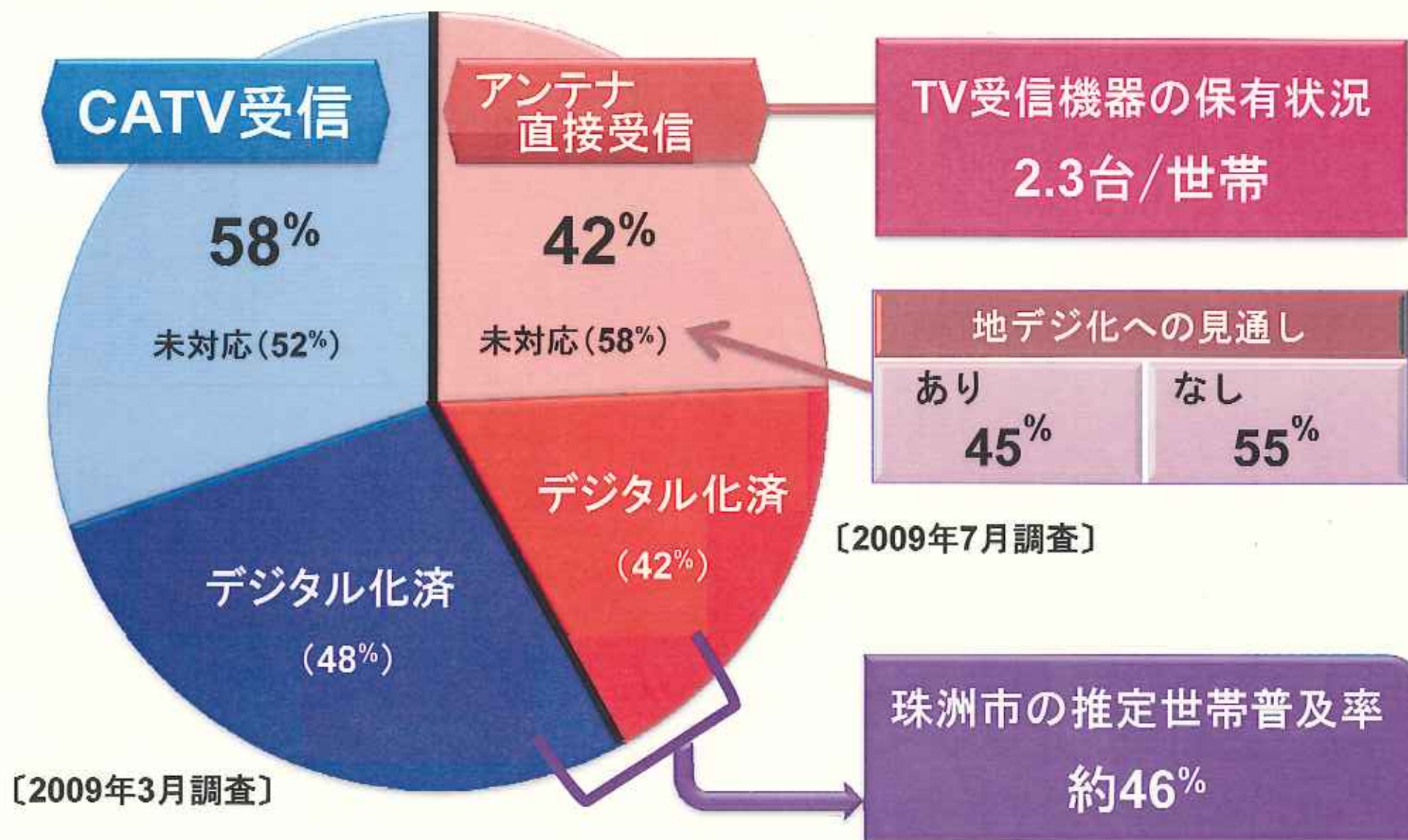
珠洲中継局を視聴する約7,500世帯

珠洲市 中心部	約5,300 ^{世帯}	アンテナ直接受信： 約2,800 ^{世帯} CATV：約2,500
能登町 内浦地区	約2,200 ^{世帯}	アンテナ直接受信： 約200 ^{世帯} CATV：約2,000

アンテナ
直接受信は
約3000世帯

参考

珠洲市の地デジ世帯普及状況（短時間休止前）



4 今回の長時間休止の概要

■ 実施日時

2010年1月22日 正午～同年1月24日 正午（連続48時間）

■ 長時間休止中のテレビ画面

「アナログ放送終了リハーサル」実施中

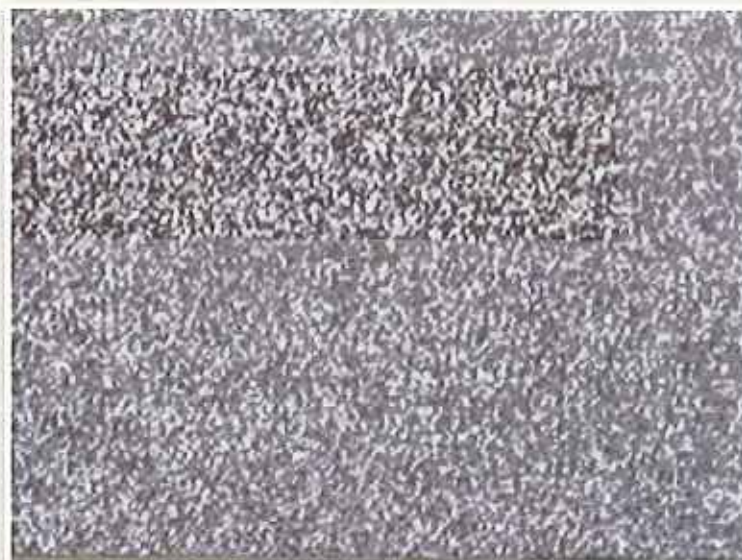
ただいまアナログテレビ放送を
休止しています。

MRO・ITC・KTK・HABは、
電波を停止しています。

（地上デジタル放送をご覧ください。）

＜お問合せ＞

デジサポ珠洲 0768-82-7770



＜NHK総合及びNHK教育＞

＜民放：MRO、ITC、KTK及びHAB＞

5

今回のリハーサルの準備状況

第1次リハーサルの教訓・反省を踏えて推進

(1) 周知の徹底

- 地元の電器店、自治体、CATV事業者、放送事業者などの協力を得て、メディアミックスをしながら展開

(2) 地デジ化への支援

世帯普及率100%の環境づくり

- 戸別訪問による地デジ化促進の説明
- 「簡易なチューナー」を貸与
- CATVにおけるデジアナ変換再送信の実施



5-1 住民への徹底した周知活動

■ 10月1日から周知活動を開始

■ 自治体、放送事業者、CATV事業者、電器店の協力を得て推進

媒 体	内 容	自治体	業務委託先 (電器店)	CATV 事業者	放送 事業者
① チラシ	自治体の広報誌折込で全戸配布(3回)	◎			
② テレビ放送	字幕スーパー				◎
③ 戸別訪問	チラシ持参説明		◎		
④ 説明会	町内会単位（珠洲市） ＜36地区延べ約500人実施済＞	◎			
⑤ 回覧板	町内会単位（能登町）	◎			
⑥ 防災行政無線	放送によるアナウンス（珠洲市） ＜1月15日～24日までの朝7時＞	◎			
⑦ 広報誌	放送休止に関する記事掲載（2月）	◎			
⑧ CATV	コミュニティチャンネルでスポット放送 （珠洲市）			◎	

自治体の広報誌（2009年10月号）に折り込んで全戸に配布

～ 総務省からの重要なお知らせ ～

珠洲市と能登町内浦地区の皆様へ

●1月下旬に長時間のリハーサルを実施します。

◆2010年1月22日(金)正午から1月24日(日)正午まで、
連続48時間、アナログ放送を休止します。

◆アナログ放送をご覧の皆様は、次のような画面になり、テレビの視聴ができなくなります。

「アナログ放送終了リハーサル」
実況中

ただいまアナログテレビ放送を
休止しています。
MRO・ITC・XTK・HABは、
電波を停止しています。

〈お問い合わせ〉デジサポ珠洲
0768-82-7770

（※この内容はリハーサル時）

◆長時間の放送休止の間、NHKは左の
ような画面となります。

◆民間放送は電波が止まり、画面が映り
ません。



●地上デジタル放送の受信準備をお願いします。

◆裏面の「地デジの受信～簡易チューナーの取付け～」をご覧ください。

●「簡易チューナー」を貸与する支援制度があります。

◆国がデジタル放送用の「簡易チューナー」をお貸しします。

◆「デジサポ珠洲」がお宅に伺って希望をお聞きし、後日チューナーの設置
をします。（貸与には、条件があります。）

◆簡易チューナーは、機能が絞られているので、制限事項や使いにくいことも
ありますが、お使いのアナログテレビを使い続けることができます。

●デジタル放送やケーブルテレビを見ている人は？

◆すでにデジタル放送を見ている方は、関係がありません。

◆ケーブルテレビでアナログ放送をご覧の方は、リハーサルや放送が終了
しても、今まで通りご覧になれます。

●「地デジの受信～簡易チューナーの取付け～」



全国より1年早く、 アナログテレビ放送が終了する予定です。

◆この長時間停波の実施により、デジタル放送が受信できることを確認
します。

◆問題が無いことを確認した後、2010年7月24日(土)正午に珠洲市及び
能登町内浦地区でのアナログ放送を完全に停波することとしています。

〈お問い合わせ先〉

総務省 石川県テレビ受信者支援センター 珠洲支所(デジサポ珠洲)
〒927-1215 石川県珠洲市上戸町北方 2-18-3 珠洲市産業センター2F
電話:0768-82-7770 FAX:0768-82-7772

参考

字幕スーパーによる周知

■ 11月24日～1月22日まで 2パターンを展開

2009年

11/24～12/24

スクロール
スーパー

ご覧の珠洲中継局のアナログ放送は、平成22年1月22日正午から1月24日正午まで休止します。デジタル放送用簡易チューナーを貸与する制度があります。
お問合せ: デジサポ珠洲 TEL 0768-82-7770



2010年

1/10～1/22

固定スーパー

デジタル放送を受信できない方は、至急ご連絡ください。
お問合せ: デジサポ珠洲
TEL 0768-82-7770

■: スーパー時間帯
(1回3分以内)



※1/22は午前10時まで

- 第1次リハーサルの反省を踏えて装置を改良
(秒単位での制御、表示フォントの品質向上など)

5-2 地デジ化への支援（1）

（1）戸別訪問による地デジ化説明・促進

- 地元の電器店（地デジサポーター）約15社の協力を得て、アンテナ直接受信世帯（約3,000）へ訪問を実施
- 10月3日～12月末

- ① デジタル電波の受信状況を確認
- ② 各戸の受信状況を踏えた地デジ化を提案
- ③ 「簡易なチューナー」の貸与要望の確認

5-2 地デジ化への支援 (2)

(2)「簡易なチューナー」の貸与

■ 要望があれば貸与・無料設置

- ＜対象＞
- アンテナ直接受信世帯 (CATV加入でも可)
 - 会社や店舗などの事業所



■ 対応漏れ世帯への注意喚起も実施

(2009年12月号、2010年1月号で広報誌に折込配布)

■ 世帯への貸与基準

		デジタル受信機保有台数 + CATV接続アナログテレビ台数				
		0	1	2	3	4台以上
使用している TV総台数	0	—	—	—	—	—
	1	1台	—	—	—	—
	2	2	1台	—	—	—
	3	3	2	1台	—	—
	4台以上	4	3	2	1台	—

～総務省からの重要なお知らせ～

珠洲市と能登町(内灘地区)の皆様へ

テレビの受信で、次に該当する方は
至急、ご連絡を!

ケーブルテレビに加入せず、アンテナで受信しているご家庭で、

- ・まだ“調査員”の訪問を受けていない
- ・まだ「地上デジタル放送」が見られない

ケーブルテレビに加入しているご家庭で、

- ・アンテナでもテレビを受信しているが、まだ“調査員”の訪問を受けていない

◆地上デジタル放送用「簡易チューナー」を貸与する制度があります。
12月18日(金)までに、「デジタル珠洲」へご連絡ください。

※毎年1月下旬に、長時間のリハーサルを実施します。

◆2010年1月22日(金)正午から1月24日(日)正午
まで、連続48時間、アナログ放送が休止されます。

そして全国より1年早く、アナログ放送は停止されます。

◆長年リハーサルの結果を踏まえて、珠洲市及び能登町(内灘地区)での
アナログ放送は、2010年7月24日(土)正午をもって完全に停止
される予定です。

〈連絡先 デジタル珠洲〉

電話: 0768-82-7770 FAX: 0768-82-7772

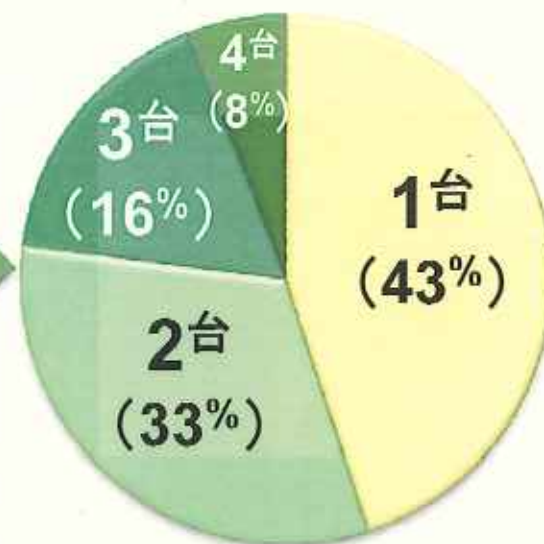
能登省石川県テレビ受信支援センター 珠洲支所(デジタル珠洲)
〒927-1215 石川県珠洲市上戸町北方2-13-3 能登省支援センター2F

5-2 地デジ化への支援 (3)

「簡易なチューナー」の貸与状況

(2010年2月22日現在)

一般世帯	アンテナ受信	3,527台 (1,883世帯)
	CATV	51台 (23世帯)
事業所		452台 (237件)
合 計		4,030台



<台数内訳>

(3) CATVにおけるデジアナ変換再送信

■ 第1次リハーサル of 反省を踏えて機能アップを実施

- 「お天気チャネル」など2チャンネルの伝送付加
- 音声モード自動対応化（ステレオ ↔ 音声多重）など

6

長時間休止時の電話問合せ状況

■ 合計49件の問合せがあり、内約6割（30件）は現地対応を実施

● 地元の電器店、JEITAメンバー、デジサポなど44名体制で対応（7回線を用意）

● 合計24時間に亘ってサポート

1回目	12:00～20:00	23件
2回目	8:00～20:00	22
3回目	8:00～12:00	4



分類	内容	件数
貸与チューナー関連 (33件)	① すでに設置済みだが映らない、使い方がわからない	11
	② 新規に貸与して欲しい	10
	③ 貸与の台数を追加して欲しい	8
	④ 自分で設置する予定だったができないので支援して欲しい	4
テレビ全般 (7件)	⑤ 地デジ対応テレビなのに地デジが視聴できないので支援して欲しい	3
	⑥ 地デジが視聴できない、どうすればいいか教えて欲しい	1
	アンテナが壊れているので、相談に乗って欲しい (2件)	
	CATVのケーブル引込線が雪で切断されているので、対応して欲しい (1件)	
一般的質問や要望 (9件)	● リハーサルはいつまでやるのか？ (3件)	
	● 車載用TVも影響を受けるのか？	
	● 貸与されたチューナーはいつまで使えるのか？	
	● CATVのデジアナ変換再送信をアナログテレビで見ているが、なぜ画面サイズが変わるのか？ など	

問合せの内容分析 (1)

①

<すでに設置済みだが映らない>

- VTR経由接続で、VTR電源がオフになっている
- ビデオ入力に切り替わっていない（テレビなどのリモコンを操作）
- 受信レベルがぎりぎりな状況（室内アンテナ利用など） など

<使い方がわからない>

- リモコンが以前と異なるので操作がよくわからない（2つの電源ボタン操作など）

②

<制度を知っていたが>

- 別棟にテレビがあることを忘れていた
- 転居するかも知れないので貸与申込みしなかった
- デジタルテレビがあるので貸与不要としていたが、別のアナログテレビで必要になった
- チラシで知っていたが失念し、親のテレビが映らないので気づいた
- アパートに新規入居して間もない状況

<制度を知らなかった>

- 間借り人なので、情報が行き届かなかった
- 珠洲市へ引越して来たばかり
- 関心がなかった。しかし、アナログ放送が視聴できなくなって初めて気づいた

問合せの内容分析 (2)

③

「貸与の台数を追加して欲しい」

- 当初の申込台数では足りないので、他のテレビ用にも貸して欲しい
- 別宅があり、そこでは見えなくてもよいと思っていたがやはり必要
- 自宅は設置済みだが、事務所を忘れていた など

④

「自分で設置する予定だったができないので支援を」

- やろうと思っていたが、時間的に間に合いそうにない
- 設置してみたが、うまく視聴ができない

⑤

「地デジ対応テレビなのに地デジが視聴できないので支援を」

- リモコンの「地デジ」ボタンを押さずに選局していた

⑥

「地デジが視聴できない、どうすればいいか」

- アンテナによる直接受信が難しい地区なので、本番に向けて対応を教えて欲しい

7 フォローアップアンケート結果の概要 (1)

- 調査期間：2月1日～2月19日
- 珠洲市 6,600,能登町50世帯を対象に実施

回収率 約14%
(917世帯)

Q1 テレビの視聴形態は？(917)

① アンテナ視聴	448世帯	49%
② CATV視聴	464	50
③ テレビ非視聴	5	1

- 実際は②の「CATV視聴」が約6割弱と推定
- ②の「CATV視聴」の約1割が、アンテナ受信も併用

Q2 第2次リハーサルの認知度は？(912)

① 知っていた	907世帯	99%
② 知らなかった	5	1

- ②の内訳は、CATV視聴が4、アンテナ視聴が1
- ②に、後日ヒアリングしたら「既にデジタルTVなので」「元々CATVは問題なしと聞いていたので」とコメント

7 フォローアップアンケート結果の概要 (2)

Q3 長時間休止中のテレビ視聴は？ (915)

① 支障なし	815世帯	89%
② 視聴出来ず	18	2
③ 不在だった	43	5
④ 視聴してなかった	39	4

- ②の「視聴出来ず」回答の殆どがアンテナ直接受信世帯
- 後日、ヒアリングした時のコメントは
 - 「室内アンテナだったので」
 - 「リモコン操作がよくわからなかったので」
 - 「カーナビで視聴できなかった」 など

Q4 今年7月24日、アナログ放送が停波することを知っているか？ (909)

① 知っている	892世帯	98%
② 知らない	17	2

- ②の「知らない」は、アンテナ視聴とCATV視聴でほぼ半々
- 後日、ヒアリングした時のコメントは
 - 「既にデジタル化済なので関心なし」
 - 「先のことだから」
 - 「CATVは関係ないと聞いていたのでは」

7 フォローアップアンケート結果の概要 (3)

Q5 今年7月24日に向けての準備は？ (906)

① 準備は出来ている	789世帯	87%
② これから自分で準備する	74	8
③ その他	43	5

● ②③について、後日、ヒアリングした時のコメントは

- 「未だ、デジタル化出来ていないTVがあり、どうすべきか迷っている」
- 「これからCATVに加入を検討中」

Q6 今年7月24日の完全停波に向けての要望は？ (複数回答・648)

① 事前に周知を	374世帯	58%
② 計画の明示を	159	25
③ チューナー貸与を希望	53	8
④ その他	62	9

- 「録画が出来ない。何とかならないか」
- 「CATVで画面が小さくなったのは何故か」
- 「勝手に終了しないでほしい」
- 「チューナーはいつまで借りられるのか」
- 「デジサポには大変感謝をしている」 など

● 圧倒的に「今後の計画を事前に周知をしてほしい」という声が多かった

● 後日のヒアリングでは③の貸与希望者の約9割は、貸与の対象外だった

- ・CATV視聴だが、無料であればチューナーが欲しい
- ・アンテナ視聴だが、4台を超えて貸与してほしい

● 「②の計画を明示」については、チューナー貸与期間やデジアナ変換の実施期限の明示の要望が多い

8 第2次リハーサル結果のまとめ

- ① 地元電器店や自治体等の協力を得て、事前準備を丁寧に行うとともに、長時間休止時は、地元電器店等に加えJEITAの協力も得て迅速な対応を図ったため、混乱なく終了した。
(問合せ数も想定の範囲内であった。)
- ② 今回の長時間休止により、今年7月24日の珠洲市でのアナログ放送先行終了への見通しを得ることができた
- ③ 一連のリハーサルを通じて、全国的な取組の参考となる課題を抽出できた (次 9 参照)
- ④ 多くの報道により、完全デジタル化への取組を広く全国に伝えることが出来た

9-1 リハーサルの教訓（全国的取組の参考）①

＜周知方法＞

- 自治体広報誌や地元電器店等による戸別訪問の周知効果は非常に大きい
- 「アナログ」を見ていても「デジタル」を見ていると誤解する方々がいることを前提に対策を考えることが必要
- アナログ放送の通常番組終了（お知らせ画面の常時表示）まで、デジタル対応をしない方々が残ることを前提に対策を考えることが必要

＜周知内容＞

- テレビ本体だけではなく、録画機などのアナログチューナー内蔵機器についても対策が必要だということの周知が必要
- アナログテレビにチューナーを接続する場合は、リモコン操作のミスでアナログテレビ画面になるので、操作方法に不安がある高齢者等には、アナログテレビのリモコンを使用できなくするなど特別な対応が必要
- CATVのデジアナ変換については、アナログテレビが継続利用できることや表示画面（レターボックス）や運用期限などの事前周知を徹底することが必要

9-2 リハーサルの教訓（全国的取組の参考）②

＜支援措置の活用＞

- ④ 周知を徹底しても、必ずしも全ての視聴者がアナログ放送の通常番組終了（お知らせ画面の常時表示）前にデジタル対応を完了するわけではないことから、アナログ放送の通常番組終了（お知らせ画面の常時表示）後にも、支援措置の申請があることを想定し、支援措置の柔軟運用が必要

＜製品＞

- ④ チューナーは、アナログテレビ等と接続して使用されるので、アナログテレビ等のリモコンがあることを想定し、高齢者等が利用する場合にも、使いやすいよう、リモコン等の更なる操作性向上が重要

＜体制＞

- ④ アナログ放送終了に向けて、きめ細かな対応をするためには、地元電器店や地元自治体などの地元の関係者との協力体制づくりが重要
- ④ 特に、アナログ放送の終了時には、視聴者からの問い合わせが多数あることを想定し、これらに機動的に応じられるよう、あらゆる関係者が連携して対応できる体制づくりが必要（リハーサルでは、電器店、自治体、メーカー、CATVなどが連携）